

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピアチェーレ			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	29名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の意思を尊重してやりたいことややってみたいことを活動に取り入れている	児童一人一人の思いを尊重しつつも、ルールの中でできるところとできないことを話し合っている	その日の活動の振り返りから翌日の活動のポイントを絞っていく。
2	様々な障害特性や障害種別、異年齢混合の集団の中で過ごしていること	環境設定	障害種別や特性、年齢に合わせた役割分担を活動に取り組んでいく
3	法人内の事業所間での交流会（行事）の開催	行事を通して楽しく様々な経験ができるような活動を取り入れるようにしている	他事業所の児童について理解を深める

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バギーを使用する児童の環境（室内がバリアフリー化されていない）	児童の活動についての工夫や配慮が不足している。そもそも賃貸の物件のため、整備するのにも限界がある。	現状の環境の中でできる活動を増やしていくこと賃貸でも可能な環境の整備
2	保護者参加型のイベントや保護者会の開催が少ない	保護者の就労に合わせると開催の日程調整が難しい。	日中や夜間帯などパターンを変えて開催の日程調整
3	家族支援・保護者支援	学校や家庭の問題に対して保護者から相談を受けることがあるが保護者が望むような助言や対応ができていないのか。そのことについて共通理解ができていないのか。	放課後等デイサービスとしてできること、学校、家庭、それぞれの役割を理解すること。その上で保護者の意向を確認していくこと。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ピアチエーレ

公表日 令和7年2月25日

利用児童数 30名(うち2人同一世帯)

回収数 29名(2人同一世帯含む)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	☐	☐		☐		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	☐	☐		☐		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	☐	☐		☐	中の様子を見る機会が少なく、はっきりとはわからない。	事業所内はいつでも見学可能となっておりますので、お迎えの際などにぜひお立ち寄りいただければと思います。また、利用児の行動や動線を整理しながらさらに環境を整理していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	☐					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	☐					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	☐			☐		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	☐	☐				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	☐	☐				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	☐	☐				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	☐			☐		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	☐	☐	☐	☐	機会がなかったかもしれないが、あまり交流しているようには感じない。	法人内の他事業所の子どもたちとの交流は隔月でイベントとして設定しております。また、在籍児の学校行事（運動会、定期演奏会など）や近隣の事業所の行事を見学・参加することで交流する機会としております。
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	☐					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	☐	☐				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	☐	☐		☐	情報提供はあると思うが、参加できるものがなかったように思う。	ペアレントトレーニングについては次年度開催を検討中です。その他、保護者向けの研修も次年度は開催する予定です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	☐	☐				連絡ノートや送迎時にお子様の様子をお伝えし、保護者様の方からお話をいただき、情報交換を日々行っております。今後も引き続き行い、共通理解ができるよう努めて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	☐	☐	☐			定期的にモニタリングを行っているほか、必要時には随時面談を行っております。

護 者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○			○		お子様の様子については日ごろから様子を伝えあうことが大事だと考えます。支援内容への気付きやご意見などありましたらいつでもお知らせいただければと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	○	○	○	○	昨年保護者会があったが、以降保護者が参加できるイベントはなかった。保護者同士の交流はない。	次年度は保護者会の開催回数を増やします。きょうだい向けのイベントについては今後検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○	○				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○	○				送迎時や受け入れ・迎えの際にできる限り保護者さまとお話をするよう心がけております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○			○		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○	○				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○	○		○		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○	○	○	○		事業所内での事故やケガにつきましてはお子様の状態を最優先に対応しております。場合によっては報告が遅れることもあるかもしれませんが、その際には真摯に状況を説明するよう努めております。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○	○		○		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○	○			季節ごとのイベントをすごく楽しみにしています★	お子様が楽しめるようなイベントを今後とも企画実行して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○	○			毎日預かって送迎していただき本当に助かっています。	今後もお子様とご家族様のための支援に努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年2月25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	医ケアの児童に対しては専用室を準備している。	バギーを使用している児童がいるので、室内外の環境整備。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		当法人は外部による第三者評価の制度を取り入れていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人全体の研修会は毎月開催。外部研修に積極的に参加したり、外部から講師を招いての研修も実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			インフォーマルなアセスメントが中心になりがちなので、定期的にフォーマルなアセスメントをしていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		長期休みなどは長時間利用になるので、子どもの希望や意見を取り入れてマンネリ化しないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日の振り返りから、必要であれば活動内容の変更などを行っている。	質のいい話し合いを設けていきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時にその日の児童の様子を聞いている。学校から毎月の利用予定表をいただいたり、緊急時には都度連絡を取り合える関係性を作っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		法人内の児童発達支援センターと連携しあっている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童クラブ等との交流はないが、在籍児童の学校行事に他校児童を連れて行き、見学や実際に参加することで交流を図っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ノートやSMSの活用。送迎時にも様子をお伝えしている。	連絡が取りにくい保護者に対して、どうやって子どもの話を伝えられるか。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		次年度開催予定	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		今年度はコロナ渦以来の保護者会の開催ができた	保護者会の回数を増やすこと
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		意見箱の設置。連絡ノートでのやり取り。苦情等があった場合には苦情解決の流れに沿った対応をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の事業所便りの発行	ホームページの更新の頻度
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			児童の特性上、事業所の行事に他者の参加はなかなか難しいケースがある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのある児童の在籍なし。今後アレルギーのある児童が利用を開始した場合には医師の指示書に基づく対応をしていく。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の事例なし	